

転倒災害防止対策の好事例集

彦根労働基準監督署管内では令和4年に休業4日以上
の労働災害が804件（新型コロナウイルス感染症関連を除いた
場合は336件）発生しました。

転倒災害は336件のうち99件と約30%を占め、事故
の型分類で最も多く発生しており、業種に関係なく発生する
傾向にあることから、優先して対策を講じる必要があります。

転倒災害の主要3要因は、「滑り」、「つまずき」、「踏
み外し」ですが、その他にも人や物と接触しそうになって転
倒するなど様々な発生状況が存在します。

本事例集には、彦根労働基準監督署管内の事業場での実際
の取組好事例を掲載しております。

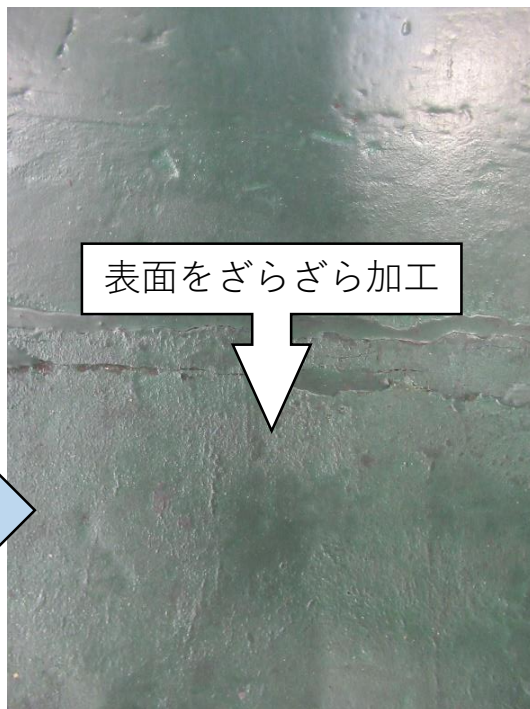
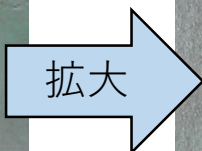
転倒災害ゼロ職場の実現に向けて、本事例集を参考に取組
を推進していただきますようお願いいたします。



滋賀労働局 彦根労働基準監督署

本好事例集に掲載する全ての写真、図、文章について、無断掲載や転用を禁止します。

滑り対策①



表面をざらざら加工

オレンジ線で区画した通路のこう配に防滑コーティング。



工場間通路に屋根を設け、雨や雪でグレーチング（格子状の蓋）が濡れないようにしている。

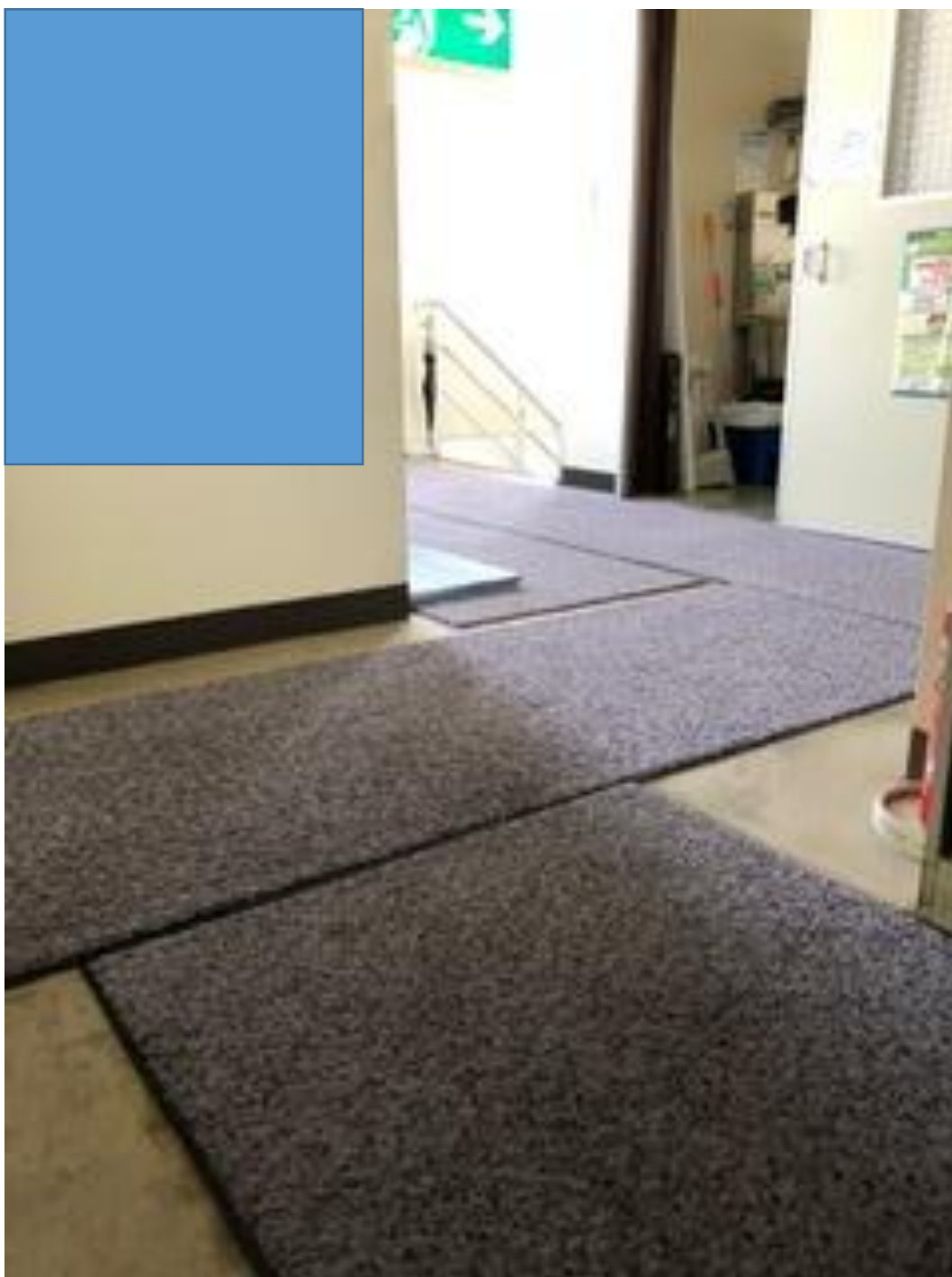
滑り対策②



出入口に滑り止めマット（黒色）を敷き、床面を加工（灰色）。



赤丸部分の拡大。靴裏面に摩擦を生じさせる。



事務所出入口に防滑マットを敷いている。
事務所にタイムカードがあり、油や水を取り扱う労働者が作業長靴のまま通行する際のリスクに備えている。

つまずき対策①



通路上の配管やコードをカバーで養生。



工場出入口の段差に「段差注意」の塗装（イラスト付き）。

つまずき対策②



段差をスロープで養生し、トラテープを貼り付け。



通路のこう配に段差注意の塗装。別途こう配基準を定めている。

つまずき対策③



台車の通路にマット（中央）を敷き、わずかな段差を解消。
台車の車輪、靴裏の水等を吸着するため、滑り対策を兼ねる。

踏み外し対策①



階段の全ての段に滑り止めシートを貼り付け。



階段に転倒注意の掲示（階段上）。



階段に転倒注意の掲示（階段下）。

踏み外し対策②



階段の下から1、2段目端を黄色塗装。



2段のステップに手すりを設け、視認しやすいように黄色塗装。

踏み外し対策③

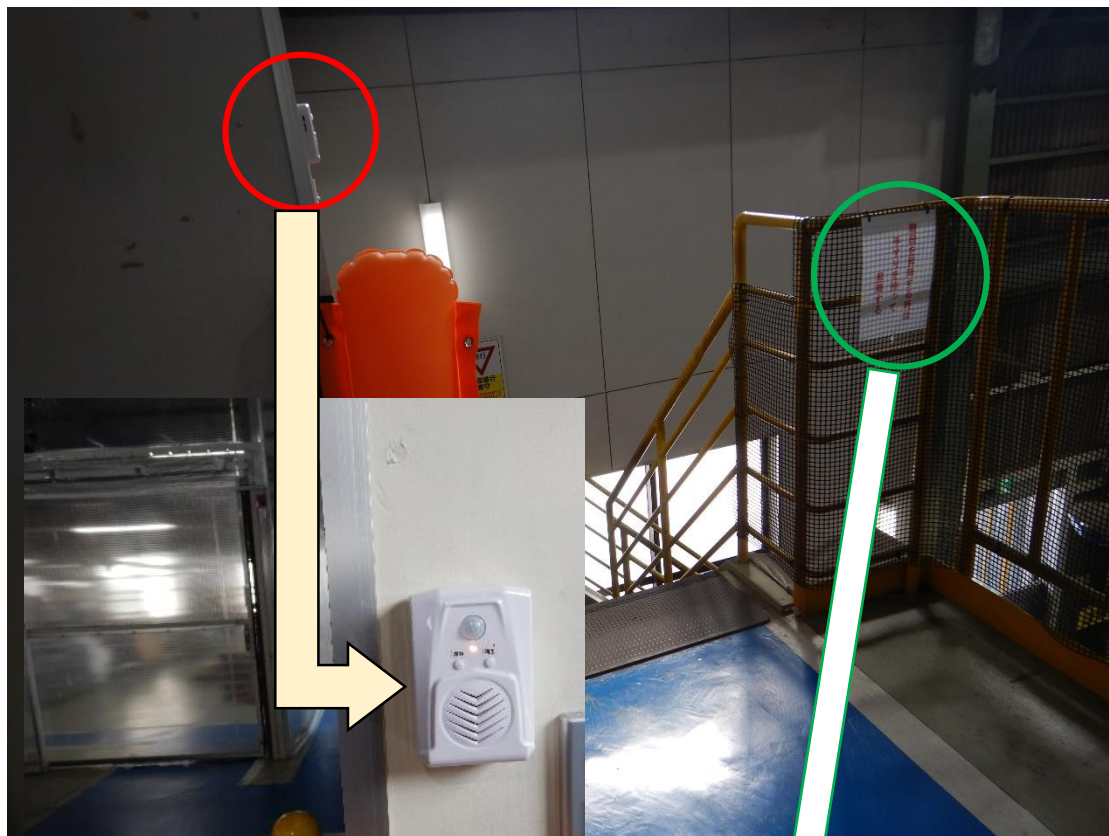


階段の全ての段の端を多色塗装。



手すりを持って右側通行のルールを明示。

踏み外し対策④



センサー（赤丸）が階段昇降時に手すりを持つようアナウンス。



アナウンスに加えて、階段昇降時に手すりを持つよう注意喚起。

踏み外し対策⑤



人感センサーが「昇降時は手摺りを握みましょう」のアナウンス。



手摺りには「昇降時は手摺りを握もう」のテープを貼り付け。

その他の対策①



事務所出入口のドアを片方（右側）に限定。



「開閉はこちらから」のシールを貼り付け。



事務所、工場間の横断歩道。



「指差呼称」、「とまれ」の表示。

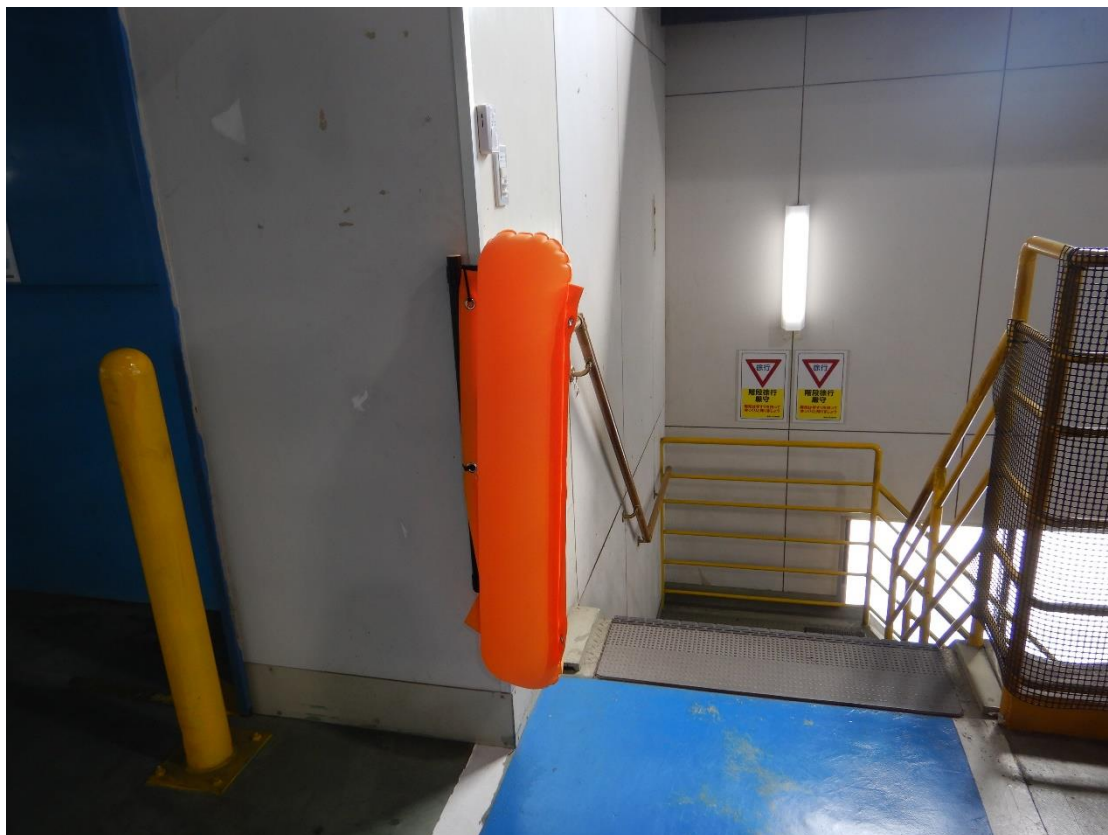


「ドアが開く！」の注意喚起掲示。

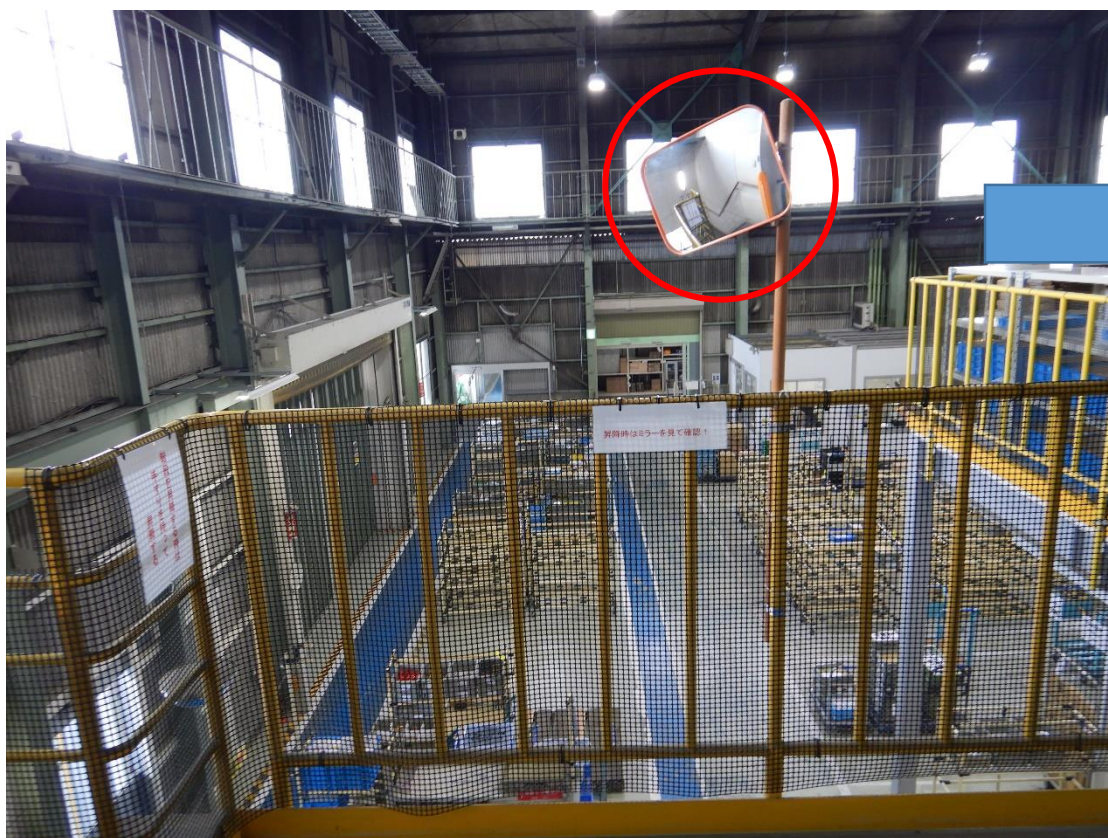


左写真の逆側に同様の掲示。

その他の対策②

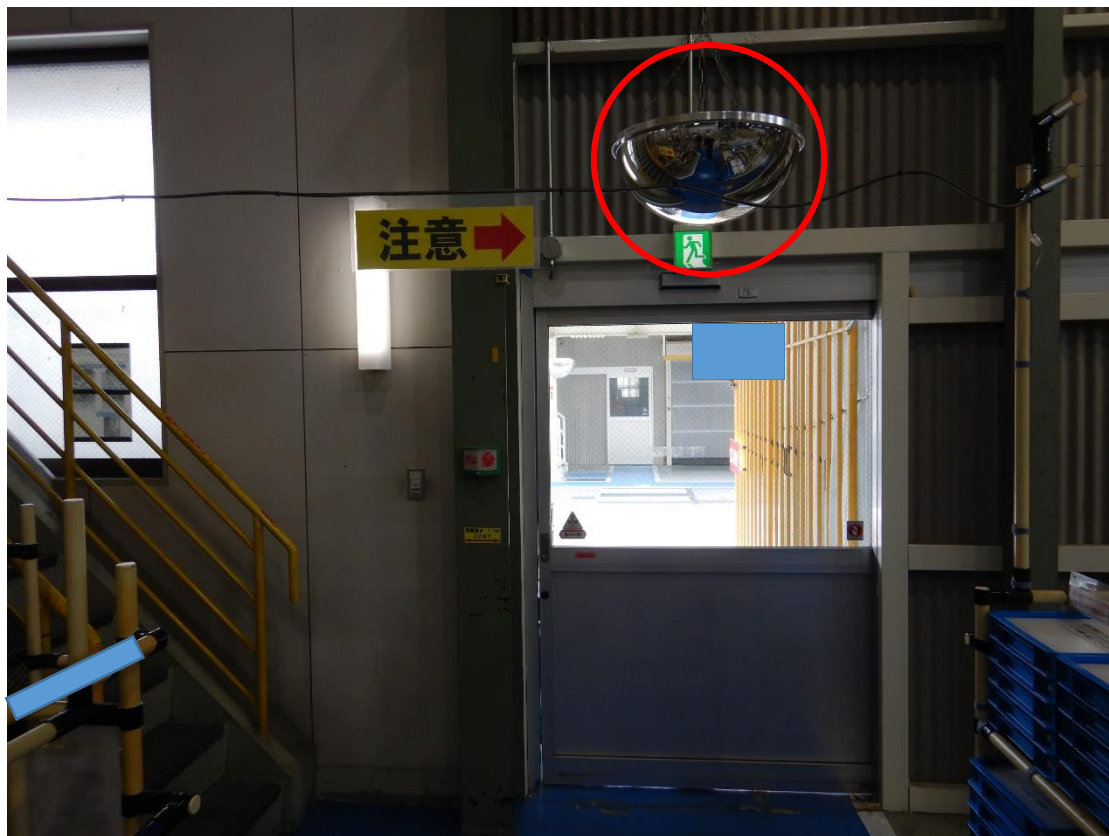


階段最上段のコーナーに緩衝材を設置。

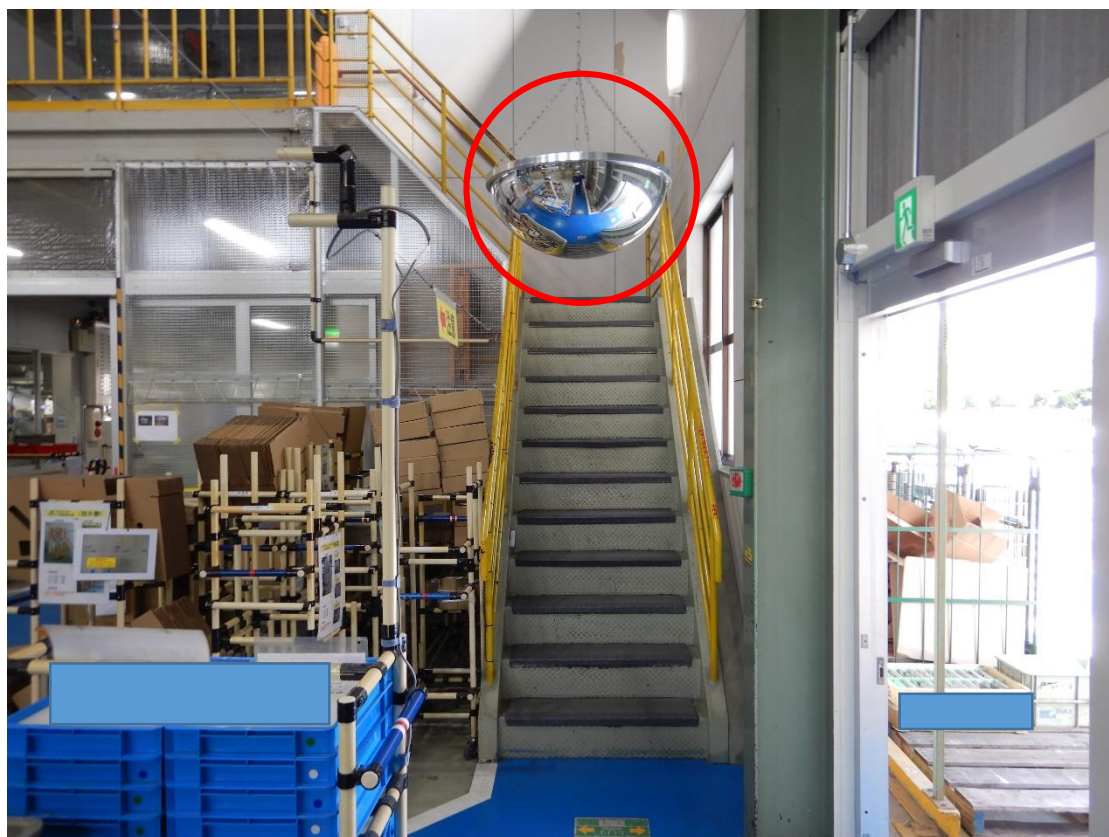


階段手前のミラーで階段に人がいるかを確認することができる。

その他の対策③



半球型のミラーで広範囲を視認できる。



上写真右側から撮影。ミラーには青色の安全通路が映る。

その他の対策④



センサー（赤囲い）が感知すると赤色灯が点灯。



上写真奥側のセンサー（赤囲い）。工場内にもセンサーあり。

その他の対策⑤



前頁の工場内センサー。屋外センサー感知時に赤色灯が点灯。



「衝突注意」等の掲示。センサー（赤囲い）が感知して点灯。

その他の対策⑥



ドアの両側にセンサーを取り付け。感知すると点灯。開閉注意の掲示。



通路のL字コーナーにミラーを設置。

安全+第一



安全第一

